

## 令和4年度第2回学校評価について

1月に実施した第2回の学校評価の結果についてお伝えします。

1回目の実施は10月でしたが、当初の提出者が少なく、再度提出をお願いして、回収し結果をお返しできたのが12月でした。そのため、2回目までの期間が1か月となりました。

改善のための取り組みをしっかりと評価していただく状態にありませんでした。

まず、そのことをお伝えし、お詫びします。

学校をよくするためには、皆さまと力を合わせる必要があります。どうか学校評価への協力を今後もよろしくお願ひします。昨年度の評価を受けて、生徒会館への渡り廊下も新設しました。様々な人の協力で学校もきれいになりました。学校は皆の力で変わることができます。

今回の学校評価を受けて、お伝えしたいことは2つです。

### まず、教員による学校評価について。

「教員自身が受けたいと思うような授業ができた」 90.6% (とてもそう思う、そう思う)

「授業や考査を反映した評価が出来た」 96.9% (とてもそう思う、そう思う)

「生徒が主体的に物事に取り組めるよう支援した」 90.7% (とてもそう思う、そう思う)

となりました。いずれも昨年度よりも今年度の1回目、そして1回目よりも2回目の数値が上がっています。

教員がよい授業をして、生徒をしっかりと見て評価し、生徒を支援することが出来れば、学校はよくなります。そんな取り組みを教員一人一人が頑張った成果がこの数値だと思っています。

先生方の1年間の頑張りを私は本当に誇りに思います。やがてそれが生徒を変え、学校を変え、地域を変えていく力になると思います。

### 2つ目は生徒の皆さんの自由記述に関して。

まずは意見を言うてくれてありがとうございました。

自由記述は思うことがあればきちんと書いてください。それが学校を改善する力になります。

昨年度の自由記述で生徒会館の渡り廊下が雨の日など滑って危険であるため、改善を求める声があり、今年度は予算を付けて、工事を行いました。皆さんの意見が学校環境を改善しました。

けれども、今年度は状況の説明も理由もなく要求のみ書いている記述が非常に多く見られました。何かを変えて欲しいときは現状を伝え、問題の背景やどうなって欲しいのか、その理由を伝えなければ相手に納得してもらうことはできません。

学校は皆の力で変えられます。けれどもそのためにはもっと有効な「伝え方」をしてください。またそれを教えていくのが私たち教員の仕事です。もっともっと丁寧に論理立てて主張していくすべをこれから皆さんたちに学んでもらえるよう、我々教員も頑張っていきたいと思っています。

学校評価への御協力ありがとうございました。これからも学校教育活動への温かい御理解と改善のための厳しい御意見を頂きますようお願いいたします。

令和5年2月8日 校長

## 令和4年度 第2回学校評価 集計結果（全年次生徒対象）

次の方法によって調査した。

4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまり思わない 1：まったく思わない 0：分からない・回答不能

※平均値は、「0」を選択した人数を除いて計算したものである。

分類	No	評価項目	割合 (%)					評定値				第1回 平均	増減	
			4	3	2	1	0	1年	2年	3年	平均			
学校 運営	1	大湊高校の取組や、年次の取組についての説明はわかりやすい。	19.6	62.6	13.5	1.1	3.2	3.18	2.94	2.99	<b>3.04</b>	3.18	↘	
	2	大湊高校の教職員は、生徒の教育に熱心に取り組んでいる。	26.5	59.9	9.0	1.6	2.9	3.27	3.06	3.10	<b>3.15</b>	3.21		
教育 活動	3	教科・科目では、生徒たちの興味・関心が持てるように目標や内容が設定されている。	19.9	61.3	12.2	1.9	4.8	3.19	2.94	2.98	<b>3.04</b>	3.12		
	4	授業終了後に「理解できた」と思えるような分かりやすい授業が行われている。	17.5	61.3	17.0	1.3	2.9	3.05	2.88	3.01	<b>2.98</b>	3.03		
	5	授業内容に基づいて、考査の問題が出題されている。	35.0	59.4	3.2	1.1	1.3	3.44	3.21	3.25	<b>3.30</b>	3.32		
	6	授業内容や、考査が反映された評価が行われている。	27.9	64.2	3.2	1.3	3.4	3.30	3.13	3.25	<b>3.23</b>	3.31		
	7	課題など様々な視点から学習の理解度を判断し、それをもとに授業が行われている。	22.0	61.5	12.2	0.8	3.4	3.20	2.97	3.08	<b>3.09</b>	3.16		
	8	ICT（パソコン、タブレット等）を活用した授業が行われている。	28.1	54.1	14.6	1.6	1.6	3.29	2.92	3.10	<b>3.11</b>	3.13		
	9	【1年次】「産業社会と人間」では、校外の人材を活用することにより、自分自身についてよく考えることができた。【2、3年次】「針路学」では、課題発見や探究活動をすることができた。	24.9	58.9	11.7	1.6	2.9	3.30	2.88	3.13	<b>3.10</b>	3.28	↘	
	10	教職員は熱心に指導を行っている。	24.4	61.5	9.0	1.3	3.7	3.28	3.05	3.05	<b>3.13</b>	3.24	↘	
	11	適切な情報が提供され、学校と生徒・保護者との間で意思疎通が円滑に行われている。	18.3	51.2	20.4	3.7	6.4	3.00	2.84	2.84	<b>2.90</b>	3.04	↘	
	12	校則や生活指導は生徒の実態に即して行われており、かつ、納得できる方法・内容である。	19.9	53.8	18.3	4.0	4.0	3.15	2.83	2.79	<b>2.93</b>	3.06	↘	
	13	部活動や生徒会活動などは、自分たちから積極的に活動し、個性が発揮できている。	26.0	59.4	8.0	1.3	5.3	3.26	3.07	3.15	<b>3.16</b>	3.30	↘	
	14	大高祭や体育祭などの学校行事の実施時期、内容などは適切である。	31.6	60.2	5.0	1.3	1.9	3.41	3.14	3.17	<b>3.24</b>	3.29		
	教育 環境・ その他	15	学校は、生徒の事故、怪我、病気に対して、保護者あるいは本人と連絡を十分にとり、対応している。	31.0	53.1	4.2	1.9	9.8	3.40	3.14	3.23	<b>3.26</b>	3.30	
		16	学校は、不登校や心の病・いじめ等について、面談を行うなど適切に対応している。	19.6	53.6	8.0	4.2	14.6	3.16	2.94	3.02	<b>3.04</b>	3.08	
17		防災訓練や校内の安全確保など、安全対策が適切に行われている。	28.4	63.4	3.7	0.3	4.2	3.36	3.16	3.22	<b>3.25</b>	3.26		
18		図書室は利用しやすい。	18.0	46.7	12.2	3.7	19.4	3.12	2.85	2.99	<b>2.98</b>	3.04		
19		図書室では、興味・関心が持てるような図書が購入されている。	19.4	45.1	8.5	2.1	24.9	3.29	2.89	3.10	<b>3.09</b>	3.15		
20		校内・外庭ともに清掃が行き届いており、きれいである。	18.0	56.5	20.2	2.1	3.2	3.03	2.84	2.93	<b>2.93</b>	2.98		
21		学校のホームページを見て、学校の情報を知ることができる。	21.0	56.5	6.6	1.3	14.6	3.23	3.05	3.13	<b>3.14</b>	3.16		
22		信頼できる教職員がいる。	29.7	53.8	9.3	2.9	4.2	3.25	3.12	3.07	<b>3.15</b>	3.26	↘	
23		質問や相談に対する教職員の対応は丁寧である。	26.5	61.0	6.1	2.1	4.2	3.25	3.10	3.15	<b>3.17</b>	3.25		

※「増減」の欄について、0.1以上の上昇を↘、0.1以上の低下を↗としている。

令和4年度 第2回学校評価 集計結果 (全年次保護者対象)

次の方法によって調査した。

4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまり思わない 1：まったく思わない 0：分からない・回答不能

※平均値は、「0」を選択した人数を除いて計算したものである。

分類	No	評価項目	割合 (%)					評定値				第1回 平均	増減
			4	3	2	1	0	1年	2年	3年	平均		
学校 評価	1	大湊高校の取組や年次の取組について、保護者に対して分かりやすい説明がなされている。	13.3	59.4	20.5	1.7	5.2	2.90	2.97	2.76	<b>2.89</b>	2.81	
	2	生徒の進路選択・決定にあたり、適切な情報の提供や家庭との連携を密にした進路指導がなされている。	17.3	55.3	19.9	2.9	4.6	2.94	2.97	2.79	<b>2.91</b>	2.70	↗
	3	校則や生活指導は生徒の実態に即して行われており、かつ、納得できる方法・内容である。	16.1	57.3	14.7	2.3	9.5	2.97	3.04	2.85	<b>2.96</b>	2.88	
	4	部活動や生徒会活動などは、生徒が自主的・自発的に活動し、個性を發揮できる指導がなされている。	17.3	57.3	12.7	2.0	10.7	2.98	3.04	3.00	<b>3.01</b>	2.95	
	5	大高祭や体育祭などの学校行事は実施時期等が適切である。	21.3	63.1	10.7	0.6	4.3	3.12	3.14	3.01	<b>3.10</b>	3.08	
教育 活動	6	学校は、生徒の事故、怪我、病気に対して、家庭との連携を密にして対応している。	18.7	53.0	15.3	1.4	11.5	2.97	3.05	3.00	<b>3.01</b>	2.91	
	7	学校は、不登校や心の病・いじめ等について教育相談等を含め、適切に対応している。	13.0	40.6	12.7	3.2	30.5	2.93	2.96	2.82	<b>2.91</b>	2.71	↗
	8	校内・外庭ともに清掃が行き届いており、きれいである。	21.0	59.1	11.2	0.6	8.1	3.17	3.09	2.99	<b>3.09</b>	3.07	
	9	学校から配付される連絡文書やホームページ等により、適切な情報提供が行われている。	15.6	64.0	13.8	1.4	5.2	2.98	3.06	2.90	<b>2.99</b>	2.95	
	10	生徒や保護者からの質問や相談に対する教職員の対応は丁寧である。	23.1	57.9	11.0	1.7	6.3	3.10	3.19	2.94	<b>3.09</b>	3.04	
	11	P T A 決算報告・予算審議や活動計画は、適切な時期に適正に行われている。	19.0	62.8	3.7	0.3	14.1	3.15	3.26	3.08	<b>3.17</b>	3.13	
	12	学校評価の項目は量・内容ともに適切である。	19.9	61.7	6.6	0.9	11.0	3.14	3.19	3.03	<b>3.13</b>	3.05	

※「増減」の欄について、0.1以上の上昇を↗、0.1以上の低下を↘としている。

令和4年度 第2回学校評価 集計結果 (教職員対象)

次の方法によって調査した。

4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまり思わない 1：まったく思わない 0：分からない・回答不能

※平均値は、「0」を選択した人数を除いて計算したものである。

分類	No	評価項目	割合 (%)					平均	第1回平均	増減
			4	3	2	1	0			
学校運営	1	教員自身が主体的であり、失敗を恐れずに挑戦できた。	15.6	59.4	18.8	3.1	3.1	2.90	3.06	↘
	2	分掌会議を充実させ、他分掌・年次との連携を効果的に行うことができた。	18.8	59.4	18.8	0.0	3.1	3.00	3.11	↘
	3	教員の資質向上、学校課題の解決のために校内研修・校外研修が適切に行われた。	21.9	65.6	3.1	3.1	6.3	3.13	3.23	↘
	4	ワークライフバランスを確保し、自らの工夫で「余裕」を作り出すことができた。(上限1か月45時間 1年360時間 年次有給休暇16日以上)	9.4	15.6	50.0	25.0	0.0	2.09	2.14	
	5	大湊高校の取組や年次の取組について、生徒・保護者に分かりやすく説明している。	6.3	71.9	9.4	0.0	12.5	2.96	2.91	
	6	報告・連絡・相談、提出期限の厳守等、当たり前に行われるべき日常の業務が行われている。	9.4	43.8	37.5	6.3	3.1	2.58	2.71	↘
教育活動	7	スクールポリシーの策定やグランドデザインの作成、新評価について理解しようとした。	28.1	62.5	6.3	0.0	3.1	3.23	3.24	
	8	教員自身が受けたいと思うような授業ができた。	15.6	75.0	9.4	0.0	0.0	3.06	2.94	↗
	9	授業が反映された考査を作成することができた。	31.3	62.5	3.1	0.0	3.1	3.29	3.38	
	10	授業や考査を反映した評価ができた。	40.6	56.3	0.0	0.0	3.1	3.42	3.23	↗
	11	生徒一人ひとりの状況や背景を考慮し、適切な指導ができた。	9.4	78.1	9.4	0.0	3.1	3.00	3.03	
	12	ICTの活用が進んだ。	53.1	34.4	6.3	0.0	6.3	3.50	3.34	↗
	13	校外の人材活用が進んだ。	21.9	53.1	21.9	0.0	3.1	3.00	3.03	
	14	「産業社会と人間」では、校外の人材を活用することにより自己探究できた。	21.9	34.4	6.3	0.0	37.5	3.25	3.12	↗
	15	「針路学」では、課題発見および探究活動をすることができた。	15.6	50.0	12.5	0.0	21.9	3.04	3.03	
	16	生徒の進路達成に向けて、教員は指導力の向上に努めた。	21.9	68.8	9.4	0.0	0.0	3.13	3.24	↘
	17	生徒の進路選択・決定にあたり、情報の提供や保護者と連携した適切な進路指導がなされている。	15.6	65.6	12.5	3.1	3.1	2.97	3.03	
	18	校外模試等による学力把握と分析が適切になされている。	12.5	65.6	15.6	3.1	3.1	2.90	2.79	↗
	19	校則や生活指導は生徒の実態に即して行われており、かつ、納得できる方法・内容である。	15.6	62.5	18.8	0.0	3.1	2.97	2.89	
	20	生徒が主体的に物事に取り組めるよう支援した。	31.3	59.4	9.4	0.0	0.0	3.22	3.09	↗
教育環境・その他	21	大高祭や体育祭などの学校行事は実施時期、内容など適切である。	34.4	56.3	9.4	0.0	0.0	3.25	3.03	↗
	22	生徒の事故、怪我、病気に対して、家庭と連携した対応が適切に行われている。	34.4	56.3	3.1	0.0	6.3	3.33	3.33	
	23	不登校や心の病・いじめ等について教育相談等を含め、適切に対応している。	31.3	56.3	3.1	0.0	9.4	3.31	3.12	↗
	24	防災計画・防災訓練・安全点検など安全対策が適切に行われている。	31.3	50.0	15.6	3.1	0.0	3.09	3.00	
	25	図書室の利用向上のため、図書選定が適切に行われ、利用環境の整備に努めている。	37.5	46.9	9.4	0.0	6.3	3.30	3.13	↗
	26	校内・外庭ともに清掃が行き届いており、きれいである。	18.8	56.3	25.0	0.0	0.0	2.94	2.83	↗
	27	PTA広報誌等やホームページにより、本校への理解・協力を求めることができた。	21.9	71.9	3.1	0.0	3.1	3.19	3.24	
	28	生徒や保護者からの質問や相談に対する教職員の対応は丁寧である。	34.4	59.4	3.1	0.0	3.1	3.32	3.44	↘
	29	会計監査が適切におこなわれている。	37.5	50.0	3.1	3.1	6.3	3.30	3.52	↘
	30	学校評価の項目は量・内容ともに適切である。	25.0	59.4	15.6	0.0	0.0	3.09	3.15	

※「増減」の欄について、0.1以上の上昇を↗、0.1以上の低下を↘としている。